



BootDarwin

©2001, Tomohiko Shimizu as pooh, ALL RIGHTS RESERVED.

ソフト名 : BootDarwin 1.2.1 MacOS X 快速起動ツール(PPC)

配付方法 : メールウェア

転載方法 : 転載可 事前にメールにて許諾

作者 : 清水 友彦

掲載者 : 同 上

動作環境 : MacOS 9.1 以上の日本語を表示可能な PowerPC 環境 , MacOS X 10.0

開発環境 : Power Macintosh G4 Cube (MacOS 9.1 日本語版 , MacOS X 10.0)

開発言語 : CodeWarrior IDE 4.1J (version 6)

圧縮方法 : StuffIt Deluxe 6.0.1 形式圧縮ファイル

汚染対策 : Norton AntiVirus 7.0

コメント :

MacOS 9.1 の"起動ディスク"を使えば MacOS X への起動が以前より楽になったとは言え、クリック操作を複数回実行しなければ再起動できません。ソフトウェア開発者等、MacOS X とクラシック環境との行き来が多いユーザにとっては、ちょっとした操作手順でも結構面倒に感じます。

BootDarwin は、MacOS X 用ディスクを選択から再起動までの一連の操作を 1 回のクリック操作で自動実行する面倒くさがりユーザのためのツールです。クラシック環境用ディスクに一発で戻すオプション機能も意外と便利です。

操作方法について



BootDarwin を起動すると、左上図のような操作画面が表示されます。ディスクアイコンの右側には、BootDarwin が自動検索した MacOS X 用ディスク名が表示されます。

現バージョンでは、MacOS X パブリックベータ版に対応しています。

複数のディスクに MacOS X がインストールされている場合は、最初に見つかったディスク名が表示されます。

ディスクアイコンをクリックすると、時計マークが付いたディスクアイコンに変化します。(右上図) この状態で BootDarwin を終了すれば、以降、BootDarwin を起動する都度、自動検索した MacOS X 用ディスクに起動ディスクを切り替え、マックをリスタートするまでの操作を省略(自動起動)できます。



自動起動が開始され、実際に起動ディスクの切替とマックのリスタートが実行されるまでの間、一定時間のインターバルをとるようにしています。インターバルの時間は、5 秒または 10 秒に設定可能です。インターバルの間、ディスクアイコンをクリックすれば、自動起動の処理を中止できます。中止した状態で BootDarwin を終了すると、次回、BootDarwin を起動した際、自動起動は実行されません。次回以降も自動起動を実行する場合は、ディスクアイコンの表示をクリック操作で切り替えて下さい。

自動起動を未設定の状態では、操作画面上の「再起動」ボタンをクリックすると、自動起動の処理を手動で開始できます。



- ・再起動する

操作画面の「再起動」と同様に，起動ディスクを切り替えた後，マックをリスタートします。

- ・ MacOS 9.1 の起動に設定 / MacOS X の起動に設定

自動起動時に切り替える MacOS 環境を選択します。"自動起動を有効にする"項目を選択すると，現在使用している MacOS 環境の再起動ディスクとして固定できます。複数のクラシック環境をインストールしている場合，または MacOS X からクラシック環境に起動ディスクを戻す場合等に使用します。

- ・ 自動起動を有効にする / 自動起動を無効にする

操作画面のディスクアイコンのクリック操作と同様に，自動起動実行の有無を選択します。

- ・ 自動起動までの待ち時間

自動起動を実行するまでのインターバル時間(待ち時間)を設定します。

シェアウェア

BootDarwin はメールウェアであり、フリーウェアではありません。BootDarwin を継続して利用される方は、ご感想・バグレポート等を是非メール送って下さい。但し、BootDarwin を個人でご利用になる範囲でしたら、シェアウェア代金の負担は一切不要です。

「連絡方法」

電子メールアドレス : tomohiko@mac.com

ホームページ : [http://www.ac.wakwak.com/ tomohiko/](http://www.ac.wakwak.com/tomohiko/)

パッキングリスト

- 1) ソフトウェア : "BootDarwin 1.2.1"
- 2) ドキュメント : "BootDarwin 操作マニュアル.pdf"

留意事項

--配布条件--

- (1) 同ソフトを配布する場合は、上記パッキングリストの内容でお願いします。
- (2) 商業目的で配付、転載、掲載をなさる際は、出来るだけ事前にご連絡下さい。

--その他--

- (1) 本ソフトに係る著作権は作者自身に帰属しますので、通常の方法で保護して頂くようお願いいたします。
- (2) 同ソフトを使用したことにより生じた損害に関しては、一切責任を負うことはできませんので、予めご了承下さい。

開発履歴

2001年04月02日 バージョン 1.2.1

- (1) ブートディスク切替機能を改善
- (2) 最新の Universal Headers 3.4 に準拠

2001年03月26日 バージョン 1.2

- (1) ブートディスク切替機能を改善
- (2) MacOS 9.1 , MacOS X 10.0 環境で動作確認
- (3) 最新の Universal Headers 3.4 に準拠

2001年02月19日 バージョン 1.1

- (1) MacOS X に切り替えるタイミングを調整
- (2) 最新の Universal Headers 3.4 に準拠

2001年02月12日 バージョン 1.0

ファーストリリース